

2025年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験 問題

(研究留学生用 (理科系専攻))

日 本 語 (B)

注意 ☆ 試験時間は100分

☆ 答えは全て答案用紙に記入すること。

日本語
(B)

国籍 Nationality		番号 No.		点 数 Marks	
氏 名 Name	(フルネームを書いて、姓に下線を引くこと。 Please print your full name, underlining your family name.)				

問 題

I _____に ^{はい} 入る ^{いち} 一ばん てきとうな ものを A~Dの ^{なか} 中から ^{ひと} 一つ えらびなさい。

(例) わたしは ^{にほんご} 日本語 _____ ^{べんきょう} 勉強しています。

A が B を C に D へ

1 ^{まい} 毎あさ、^{えき} 駅の ^{まえ} 前 _____ とおります。

A で B と C に D を

2 パンに _____ を ^た ぬって 食べます。

A サンドイッチ B サラダ C ケーキ D ジャム

3 おもちゃの ^{うりば} うりばは、_____ に ありますか。

A ^{なん} 何がい B ^{なん} 何だい C ^{なん} 何にん D ^{なん} 何まい

4 シャワーを _____ ^{あと} あとで、うたを うたいます。

A あび B あびた C あびて D あびる

5 ^{やまだ} 山田さんは _____ ^く 来ると おもいます。

A しばらく B すっかり C そろそろ D だんだん

6 ^{おおあめ} きのうの大雨で ^{かわ} 川の ^{みず} 水が _____ いる。

A にがして B にぎって C にごって D にらんで

7 となりの家 ^{いえ} が _____、^{よる} 夜も ^ね 寝られない。

A いさまして B さわがしくて
C そそっかしくて D はなはだしくて

8 ^{ぜんぜんうんどう} 全然運動していないため、^{たいじゅう} 体 ^ふ 重が増える _____。

A ^{いっぽう} 一方だ B せいだ C だらけだ D にすぎない

- 9 先月、給料せんげつ きゅうりょうがあがってうれしい_____、責任せきにん おもが重くなった。
A ことは B につけて C 反面はんめん D ように
- 10 小学生しょうがくせいの娘むすめは、みんなの前まえで大きな声おおこえで_____とスピーチできた。
A のろのろ B はきはき C ぶつぶつ D まごまご
- 11 両親りょうしんに_____からでなければ、日本にほんに留学りゅうがくするかどうかを決定きめられない。
A 相談そうだんした B 相談そうだんして C 相談そうだんしない D 相談そうだんする
- 12 田中さんの話すことと_____、自慢ばかりだ。
A きたら B くるなら C くれれば D こようと
- 13 我々は事件の真相を_____、現場に足を運んだ。
A 説明すべき B 説明するとき
C 説明すべく D 説明するごとく
- 14 料理は見た目もきれいだと、_____おいしく感じる。
A なおさら B なにとぞ C なるだけ D なんなり
- 15 田中さんは_____立派な人格の持ち主で、周囲の人から一目置かれている。
A まれに見ぬ B まれに見る C やたら見ぬ D やたら見る
- 16 ドライバーが初心者マークの表示義務を_____場合、道路交通法の違反となる。
A 怠った B 負った C 謹んだ D 控えた
- 17 「応援してくれたみんなに恩返しができた」と、吉田選手は優勝を_____喜んだ。
A 涙がてら B 涙はおろか C 涙をよそに D 涙ながらに

Ⅱ _____と ^{いち}一ばん ^{かんけい}かんけいがあるものを A～Dの ^{なか}中から ^{ひと}一つえらびなさい。

(例) ^{れい}けさ コーヒーを のみました。

- A きょうの あさ
- B きょうの ゆうがた
- C きのうの あさ
- D きのうの ゆうがた

1 かしこまりました。

- A かえりました
- B しつれいしました
- C わかりました
- D ごちそうさまでした

2 トイレは どこですか。

- A おふろ
- B げんかん
- C おてあらい
- D だいどころ

3 わたしには きょうだいが います。

- A そふ
- B はは
- C ともだち
- D おとうと

4 この ^{きょうしつ}教室で ^た食べものを ^た食べることは できません。

- A ^た食べては いけません
- B ^た食べないほうが いいです
- C ^た食べなくても いいです
- D ^た食べなければ なりません

5 さとうさんは びょうきで ^{がっこう}学校を やすんだことが ありません。

- A まじめです
- B べんきょうが すきです
- C しんせつです
- D からだが じょうぶです

6 物価が上がったことで、ビルの^{けんちくひ}建築費が^よ予算をこえた。

- A オーバーした
- B カバーした
- C チェックした
- D パスした

7 あの人は勉強^{ひと べんきょう}ができるのみならず、スポーツも得意^{とくい}だ。

- A だけに B ばかりに C ことなく D だけではなく

8 9時50分に駅^{じ ぶん えき}で会いましょうか。あるいは、10時に店^{じ みせ}の前^{まえ}で会いましょうか。

- A そして B または C それから D なぜなら

9 この店はテレビで紹^{みせ}介^{しょうかい}されて以降^{いこう}、さらに多^{おお}く^{きやく}の客^くが来るようになった。

- A いっそう B いったん C ぐっすり D せっかく

10 新^{あた}しい駅^{えき}ができたことを契^{けい}機^きにして、この町^{まち}には多^{おお}く^{ひと}の^く人^くが来るようになった。

- A もとにして B 中^{ちゅう}心^{しん}にして
C めきにして D きっかけにして

11 その人は自^{ひと}分の^{じぶん}したことが正^{ただ}しいと強^{つよ}く信^{しん}じていたが、他^{ほか}の人^{ひと}はそう思^{おも}わなかった。

- A 思^{おも}い直^{なお}していた B 思^{おも}いついていた
C 思^{おも}い込^こんでいた D 思^{おも}い出^だしていた

12 その話はまぎれもない事^じ実^{じつ}だ。

- A うそと見^み分^わけがつかない B うそから出^でたまことである
C 事^じ実^{じつ}と食^くい違^{ちが}いがある D 事^じ実^{じつ}であることは疑^ぎいの余^{あま}地^ちがない

13 田中^{たなか}さんの一^{ひと}言^{ごん}で、その場^ばの雰^{ふん}囲^い気^きが一変^{へん}した。

- A すんなり変^へわった B そこそこ変^へわった
C かろうじて変^へわった D まるっきり変^へわった

14 慣^なれぬこととて、ご迷^{めい}惑^{わく}をおかけするかもしれません。

- A 慣^なれていないがゆえに B 慣^なれないことでもあるまいし
C 慣^なれてしまったとはいえ D 慣^なれてしまっているだけあって

15 同じことを繰^{くり}返^{かえ}しているだけでは、それこそ時^じ間^{かん}の無^む駄^だだ。

- A 時^じ間^{かん}の無^む駄^だにあたらない B 時^じ間^{かん}の無^む駄^だでなくてなんだろう
C 時^じ間^{かん}の無^む駄^だではすまない D 時^じ間^{かん}の無^む駄^だであろうはずがない

3 彼はこの漫画を全 かん 持っています。

A けがをしたので、包帯を ま いています。

B この二つの液体は ま ぜないでください。

C 病院まで友人のお見 ま いに行ってきました。

D 次の試合では ま けないようにがんばります。

4 天候が回復して、通行禁止が と されました。

A 私は西洋の かい 画が好きです。

B エアコンを修理して、かい 適な部屋になりました。

C 彼はいくつもの問題を一人で かい 決してきました。

D 健康のため、エレベーターを使わずに かい 段で行きます。

5 海外の大学を じゅ 験することにしました。

A よい考えが う かびました。

B 会議の う ち合わせをします。

C どんな仕事でも引き う けます。

D ゴミを土の中に う めてはいけません。

6 地震で大きな ゆ れを感じました。

A これは よう 毛で編まれたセーターです。

B 私は小学生の時から民 よう を習っています。

C 突然の知らせに、動 よう してしまいました。

D 深い教 よう を身につけるためには、多くの良書を読まなければなりません。

7 田んぼの水が ひ 上がってしまいました。

A 会員名 ぼ を作りました。

B 納豆と梅 ぼ しは食べられません。

C 夜中の ぼ 地は何となく気味が悪いです。

D 日頃から大規 ぼ な災害に備えておくことが大切です。

8 今度の選きよで誰に投票するかはまだ決めていません。

A 大勢の人たちが一きよにやってきました。

B 人間は謙きよに生きなければなりません。

C 今回の提案については断固としてきよ否します。

D 東京から大阪までのきよ離はどれくらいですか。

9 試験問題が外部にもれないように十分気をつけてください。

A ろう下は走らないでください。

B 今回の火事はろう電が原因です。

C 私は一人で放ろうの旅に出ました。

D 有名な歌手が美しい歌声を披ろうしました。

10 偉人は若い時に自分の使命についてさとっていることが多いです。

A この時計はほとんどご差が生じません。

B 吉田さんの囲ごの腕前はプロ並みです。

C 当時のご楽といえば、映画くらいしかありませんでした。

D 田中さんが仕事をやめたのは相当の覚ごがあったからでしょう。

Ⅳ つぎ ぶんしょう よ と こた こた なか もっと てきとう
次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適切な
ものを一つ選びなさい。

(1) 人にはよく怒る人と、怒ることができない人がいると言われています。怒れない人は、心配な気持ちや悲しい、寂しい気持ちなどの「悪い気持ち」をしっかりと考えることが上手ではありません。ある医者は、怒れない人が悪い気持ちになったとき、その気持ちについて紙に書いてほしいと話しています。どんな紙でも、どんな書き方でもいいので、そのときの気持ちを書くのです。悪い気持ちを書くと、自分が感じたことをしっかりと考えられるそうです。

問い1 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 人はみんな上手に怒ることができません。
B 悪い気持ちをしっかりと考えられない人はよく怒ります。
C 悪い気持ちを書くとき、医者が作った特別な紙を使わなければなりません。
D 怒れない人が悪い気持ちを書くと、自分の気持ちについてよく考えることができます。

(2) 「七夕」は日本の夏のお祭りです。今から2000年以上前に中国でできた話が八世紀に日本に伝わりました。中国から来た話と日本に昔からあった習慣がいっしょになって、日本の七夕ができました。今から300年ぐらい前に、日本のいろいろなところで七夕をするようになりました。紙に上手になりたいことを書いて、竹という木につけてお祈りをする習慣もこのときにできました。上手になりたいことを書く紙は五つの色が使われることが多いです。

問い2 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 中国の七夕の話は八世紀にできました。
B 日本のいろいろなところで七夕をするようになったのは最近です。
C 七夕で上手になりたいことを書く紙は五つの色でなければなりません。
D 日本の七夕は中国の古い話と日本の習慣がいっしょになってできました。

(3) 最近、漢字を勉強するときに、楽しく勉強できる本が増えてきました。漢字の問題の中にねこの問題がある本や、漢字の説明の中にまんががある本などがあって、このような本を使うと、とても楽しく漢字を勉強することができます。また、日本人や、日本語が上手な人のための漢字の本もあります。その本で勉強すると、忘れることが少なくなって、頭が良くなるそうです。漢字の勉強は、子どもも大人も楽しくできることが大切です。

と 問い 3 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 漢字を勉強するための本の中にまんがを使ってはいけません。
- B つまらない本を使った方が、漢字をたくさん覚えることができます。
- C 漢字の問題の中にねこの問題があって、楽しく漢字を勉強できる本があります。
- D 日本人は忘れることが多くなってしまうので、本を使って漢字の勉強をします。

(4) 日本のたくさんの中学校では、みんな同じ服を着ますが、好きな服で学校に行っている日がある中学校もあります。A学校の学生は、一月に二回、好きな服で学校に行きます。学生たちは「いつもとちがう服は、とても楽しいです」と言います。A学校では「学校で勉強するのにあっている服を着る」という決まりがありますから、学生たちはよく考えて好きな服を選びます。服を選ぶのは学生たちにとって、とてもいい勉強になるそうです。

と 問い 4 文の内容に合っているものはどれですか。

- A どの中学校でも、毎日好きな服で学校に行ってもいいです。
- B A学校では、学校に着て行く服を選ぶときの規則があります。
- C 学生たちはみんな、同じ服で学校へ行くのが好きではありません。
- D A学校の学生は、服を選ぶ勉強をするための学校に行っています。